



広報

# せと

風車のまわるアジな

2002  
平成14年

# 8

No. 351



大勢の入場者で賑わった「ちりめんまつり」で、ちりめん尽くしの料理を堪能する皆さん

## 楽しい夏休み！ワクワクのイベントがいっぱい！

子ども達が待ちに待った夏休みに入ると各地でイベント行事が満載だ。まず、川之浜東郷公園で7月21日(日)、恒例の「ちりめんまつり」が行われ、川之浜の海岸には休みを海で過ごす家族連れが大勢繰り出しました。

まつり会場では、うだるような暑さの中、水遊びに歓声をあげる子どもらや冷たいビールにちりめん尽くしの料理を堪能し満足げな人々が終日あふれ、始まったばかりの夏休みを心行くまで満喫していました。8月4日(日)には「せとの花嫁まつり」が行われ、約1,200名の入場者でにぎわいました。

(イベント特集2～4ページに掲載)

## 今月の主な内容

イベント特集	2～4
町消防操法大会	5
町のできごと	6
日韓交流	7
シリーズ⑩市町村合併	8
お知らせ	10～11
人々のうごき	12

第17回「せとの花嫁まつり」 8/4(日)三机  
町民から初の花嫁誕生



三机湾をバックに人力車パレード

イベント会場  
行事盛りだくさん

八月四日(日)、三机須賀公園を主会場に第十七回「せとの花嫁まつり」(イベント実行委員会主催・委員長 高月光治)が開催されました。午前十時からお祭り広場で行なわれたオープニングセレモニーでは、今年「せとの花嫁」に選ばれた新婦 瀧井理絵さん(高茂)と新郎 山崎秀樹さん(三瓶)、井上町長、岡山瀬戸町の日笠収入役らによるテープカットが行なわれ

イベント特集  
せとの花嫁まつり



「おっきな魚つかまえた!」



力のこもった青年相撲



今年の特賞当選者は塩成の山本由美さん

た後、「風ジュニア」の力強い太鼓の演奏と川之浜「ソーラン会」による軽快なリズムのソーラン踊りが披露され、祭り気分を盛り上げました。須賀の森では相撲大会が行なわれ、各小学校代表の児童たちが保護者や友達の声援を受けながら熱戦を繰り広げ、続く青年相撲でも地区対抗とあって力のこもった取り組みで観客を湧かせました。また、パーベキューのおいしそうな匂いが漂い、終始アマチュアバンドの生演奏が賑やかな広場では子供連発の当て

やサイコロゲームをする姿が見られ、プールでは小学生が着せ替えリレーやパン食い競争など水上運動会を楽しみました。魚のつかみ取りも行なわれ、大きな鯛やヒラメ、ハマチやアジが特設プールに放たれ、子供達が歓声を上げて魚を獲得した子供以上にお母さん方が「今夜はごちそう」と嬉しそうでした。お楽しみ抽選会では、ちりめんなどの特産品の他、豪華景品が当たるとあって毎年好評で、今年も幸運な方がテレビデオや自転車を獲得しました。



「初めて町民から「瀬戸の花嫁」が誕生しました。今年、町から「手づくり結婚式」をプレゼントされたのは、高茂在住の瀧井理絵さんと三瓶町の山崎秀樹さん。共に二十歳という若いカップルで、広報6月号でも紹介したように、昨年の「手作り結婚式」の会場で花火を見ながら「来年はあの特等席から花火を見たいね」と二人で語り合ったというところで、「夢が本当に叶うなんて、すごく嬉しい」と、新婦理絵さんが笑顔で語ってくれました。

町民が若い二人を  
盛大に祝福



お色直しを終え再びご両人登場

昼間の日差しが少し緩んだ午後五時、町民センターで「手作り結婚式」の発表セレモニーが行なわれ、二人を祝福しようとする町民は早くから大勢の町民が詰め掛けました。高月委員長のあいさつの後、会場に集まった人々の「ヨイショ」の掛け声で鏡開きが行なわれ、樽酒が振舞われました。大久小学校二年生の山本穂乃香ちゃん・坂本あきちゃんから新郎新婦にお祝いの花束が手渡され、クラッカーの大きな音と町民の祝いの花束が手渡され、クラ

イベント特集  
せとの花嫁まつり



「ヨイショ、ヨイショ」のかけ声で鏡開き

福の声を拍手に見ながら人力車で三机の町並みへ出発しました。町の中では二人を一目見ようと、いたる所に人々が待ち受け祝福の声をかけていました。



新郎新婦に花束を渡したあきちゃん(左)とほのかちゃん(右) 左、岡山日笠収入役

幻想的で感動的  
結婚式

夕日が沈む頃、須賀の森に到着した二人は、塩成吟遊会による祝歌が流れる八幡神社境内に緊張の面持ちで入場し、かがり火が赤々と焚かれ、幻想的な雰囲気の本殿で挙式が始まる。三三九度、指輪の交換、誓いの言葉と恙無く厳かに結婚式は執り行われました。古風で厳粛な結婚式と、現代的な美しさも若さがあふいって新鮮で感動的でした。この後、樹齢約二百年の縁結びの御木ヒヤクシンにしめ縄を結び、二人はこれから変わらない愛を誓いました。



2人で「誓いの言葉」をかみしめて

二人で「誓いの言葉」をかみしめて

挙式後、公園広場ではガムデンパーティが開かれ、荘厳なムードで終了した挙式とは一変して「ハッピーサマーウエディング」の軽快な曲によって新郎新婦が入場すると、二人の友人らから歓声が上がります。若者らしく、はじけた楽しい雰囲気のパティが始まりました。アマチュアバンドの歌を聴きながら、タコヤキ、サザエなど海鮮パーベキューや心づくしの料理で出席者をもてなし、ウエディングドレスにお色直しをした可愛い花嫁が再び戻ってきたとき、



2人でお客様にクッキーと花のプレゼント

「風」の祝儀太鼓が打ち鳴らされ、演奏の終了と共に、夜空いっぱいに見事な花火が打ち上げられました。大音響と共に真っ暗な夜空に次々と映き乱れる赤や黄色の華麗な花火が三机湾の静まり返った海面に映し出され、その美しさに誰もが息を呑み、息を呑み、そして大歓声へと変わりました。若いカップルの末水い幸せと前途を祝福し、出席者の願いとも折りともつかぬ拍手がいつまでも続きました。

# 暑さ ものどもせず 練習の成果発揮



3位入賞田部分団の息の合った操法(左 三好副分団長、右 梶原班長)

小型ポンプの部1位  
大久分団



後列左から中里分団長、坂本副分団長、松本班長、前列左から清水班長、谷村団員、山本団員

ポンプ自動車の部1位  
大久分団



後列左から中里分団長、吉森団員、濱田団員、竹本班長、前列左から梶岡団員、河野団員、中西副分団長

小型ポンプの部2位  
川之浜分団



左から指揮者、藤川班長、佐々木副分団長、山口班長、是濤団員、島本団員

### ◆小型ポンプの部

出場順位	分団名	指揮者	1番員	2番員	3番員	補欠
1	大久分団	中里 賢作	宝条 一之	西山 正光	村上 廣和	野部 圭一
2	三机分団	長 下野 保久	副分団長 下野 政城	団員 田中 洋介	団員 井上 勝彦	班長 稲井 太郎
3	田部分団	班長 梶原雄一郎	副分団長 三好 要	団員 久世 忠徳	副分団長 梶原 博和	班長 梶田 孝
4	大久分団	副分団長 坂本 俊彦	班長 清水 浩二	団員 谷村 泰吾	団員 山本 浩文	班長 松本 晴光
5	足成分団	分団長 久保田 学	団員 大石 一登	班長 岩井 智樹	団員 竹林 俊則	班長 前田 隆
6	川之浜分団	班長 藤川 輝之	班長 山口 崇	団員 高澤 和史	副分団長 島本 勝典	班長 佐々木 幸也
7	大江分団	班長 井上 修	団員 井上 秋生	班長 米田 慎一	副分団長 井上 都夫	分団長 小早川 晋朗

### ◆ポンプ自動車の部

出場順位	分団名	指揮者	1番員	2番員	3番員	4番員	補欠
1	三机分団	班長 高月 光治	団員 米光 孝吉	団員 中村 喜範	団員 山内 清秀	団員 松澤 法久	班長 渡家 順一
2	大久分団	副分団長 中西 利郎	団員 吉森 晋久也	団員 濱田 卓紀	団員 梶岡 秀人	団員 河野 正和	班長 竹本 文夫

七月二十八日(日)、瀬戸中グラウンドで町消防操法競技大会が行なわれました。灼熱の太陽が照りつける中、小型ポンプの部に七チーム、ポンプ自動車の部に二チームが出場し、毎晩運くまでの練習で鍛えた操法の技を競い合いました。消防団員の皆さんは、真夏の太陽がジリジリと焼くように照らすグラウンドで各分団の選手演技を見守り、選手の皆さんもそれに応えるかのように真剣な表情で、白熱した自衛を披露してくれました。結果は次のとおりです。

◆小型ポンプの部  
一位 大久分団  
二位 川之浜分団  
三位 田部分団

◆ポンプ自動車の部  
一位 大久分団  
二位 三机分団

競技に出場された選手の方々は下表のとおりです。

## 鍛えた操法の技披露 7チーム出場

## イベント特集

# ちりめんまつり



魚を追いかけてプールの中を右往左往

ちりめんまつりでは、子どもたちがプールの中を魚の影を追って遊んでいます。また、ちりめんを引っ張って遊ぶコーナーもあり、子どもたちは楽しんでいます。会場には、ちりめんを販売するブースもあり、多くの人々がちりめんを購入しています。



地元の若者や小学生によるソーラン踊り

いよいよ夏休み家族連れで大賑わい。夏休みが始まったばかりの七月二十一日(日)、川之浜の東脇公園で「ちりめんまつり」(川之浜ゆうゆう会主催・会長 村上千也)が行なわれ、夏休みを楽しみにしていた子供や家族連れが大勢繰り出し、約七百人の入場者で賑わいました。



# 子供は浜辺で水しぶき 親はちりめん料理に舌鼓



## 理学療法士



大洲市でリハビリを行っています。八月一日より瀬戸診療所に勤務する事になりました。瀬戸町は初めてで分からないことが多いのですが、自然豊かな土地で仕事ができることを嬉しく思っています。まだ若く至らない所も多く何かとご迷惑をおかけすることもあると思いますが、少しでも皆様のお役に立てればと思っています。頑張りますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

高須賀 響 (24歳)  
S 53年4月27日生まれ  
出身地 吉田町  
趣味 散歩

## 外国語指導助手



マーティン・サイモン(27歳)  
1975年8月12日生まれ  
出身地 オーストラリア  
アデレード  
身長193cm 体重(?)kg

強まりましたが、まだまだ下手でもっとよくなるため挑戦したいと思っています。また、日本文化にも大変興味があり、空手、剣道、禅をはじめ日本料理とか生活様式も学びたいと思っています。大好きなスポーツは水泳、バドミントンですが読書や食べ歩きをしたり友達と哲学について語り合うこともあります。日本に来て大変嬉しく思っており、日本の友達もたくさん作りたいと思っていますので気軽に声をかけて下さい。

## 窯入れ窯たし 自分たちの手で

三机小学校では、七月六日(土)と二十七日(土)の両日炭焼き体験を実施しました。これは、今年度から学校週五日制になったことにより、子どもたちに教室だけで経験できないことを通じて自分

## みんなで炭焼きしたよ

三机小学校 体験学習

で考え行動することや思いやり、道徳心を養おうと計画。今回は、炭が出来上がる過程を体験し、先人の知恵や生活文化の進歩について学習すると共に山村の暮らし方を学び、併せて瀬戸町の自然の素晴らしさを再認識することが目的で、町内で炭焼きを唯一営んでいる炭焼き歴三十五年のベテラン、高茂



みんなで、できあがった炭の窯出し

の中田隆夫さんの指導のもとに行われました。七月六日は原木を炭窯に入れる窯入れ作業を体験し、子どもも、大人合わせて五九名が参加。この日はあいにくの雨で、炭焼き体験には不向きな天候でしたが、子どもたちは初めて体験する作業とあって大変熱心に取り組んでいました。その後雨は降り止まず、本日予定の昆虫観察は中止して次回を行うことで解散。七月二十七日は、七月六日に窯入れして炭になったものを取り出す窯出し作業を体験しました。まず、中田さんが窯の前の封をした土、石を取り除くと、窯の中から炭が見え始め、子どもたちから歓声とどよめきが上がりました。



自分たちで焼いた炭を袋につめて持って帰る

子どもたちは、手や顔を炭で黒くしながら汗だくで次々と窯から炭運び出しました。その後、中田さんの自宅前工務所へ移動し、炭が出来た全工程について説明を受け、子どもたちは、資料を見ながら熱心に学習しました。最後に中田さんに皆で元氣なお礼の挨拶をして炭焼き体験を終りました。それから近くでかぶと虫の観察を実施。あまり多くは見つけられませんが、子どもたちは夢中になって土の中を探っていました。午前十時三十分、高茂を後にして三机須賀公園でできたの炭を使ってパーベキューを楽しみました。

## 八西消防操法大会 川之浜分団僅差で三位、大久健闘

八月十一日(日)、瀬戸中グランドで消防操法八西地区大会が開催され、小型ポンプの部が十二チーム、ボンプ自動車の部六チームが参加し九月に行われる県大会を目指して熱い戦いを繰り広げました。各町の大会を勝ち抜いただけであったチームも鍛えぬかれたレベルの高い操法を展開し、団員や来賓から大きな拍手を浴びていました。結果は次のとおりです。

- ◆小型ポンプの部
  - 一位 三崎町 第三分団
  - 二位 伊方町 第十三分団
  - 三位 瀬戸町 川之浜分団
  - 四位 瀬戸町 大久分団
- ◆ボンプ自動車の部
  - 一位 三崎町
  - 二位 八幡浜市真穴分団 二位
  - 三位 伊方町 第五分団
  - 四位 瀬戸町 大久分団



表彰台上に登る川之浜分団瀬戸班長

## 町民待望の瀬戸診療所、始動



快適な待合室



7月30日、落成神事

最新式の設備を導入して、町民の医療福祉に対する期待を集めている瀬戸診療所が八月九日から完全診療体制に入り、連日大勢の外来患者が訪れています。待合室に並ぶ患者さんにお話を伺うと、「広くて快適な待合室の雰囲気長い待ち時間でも苦になりません」との事、開設時の混乱で町民の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、スタッフが、スタッフ一同、早々の快適な診療環境の整備に努力しておりますのでご理解の程、お願い致します。

## 日韓交流事業

### 韓国青年町内に

### ホームステイ

愛媛地球市民の会の主催による第四回サマースクーリングIN松山が開催され、八月四日(日)から八月十一日(日)にかけて韓国から大学生など十一名が愛媛県を訪れ、県内各地でホームステイを行いました。

本町には南ソウル大学の学生、金秀順(キム・スビン)さんと朴成太(パク・ソンデ)さんが来町。それぞれ三機の伊勢家昭さん、井上利彦さんの家庭にお世話になりながら思い出深い充実した日々を過ごしました。金さん、朴さんお二人に、今回のホームステイの感想を書いていたきましたので、原文のとおり紹介します。



伊勢家ファミリーと金さん(前列中央)

### 日本に来て感じたこと

金秀順

私は日本語を勉強して三年くらいになります。しかし、日本には今度がはじめてです。日本に来たあと、はじめて感じたことは韓国よりも暑かったことです。そして私と一緒に瀬戸町で生活を朴さんと親切に案内してもらってびっくりしました。昭さんの家庭で生活をしたあと、日本の家族に感じたことはゆとりのある暮らしで小さいことも一緒にしようとするのが気に入りました。それ

るな場所に案内してもらってくわしく日本の美しい自然と生活文化、こまやかな人情を感じる事ができました。ご飯を食べるとき、食べ物としておいしかったです、すこし甘かったです、それでもよかったです。たぶん私の考えには韓国と日本の差がありましたが、食べ物の種類や味の差異ではなく、慣れの差異点のようです。

ところで瀬戸町の場合、田舎からの問題が見えます。若者が少なく老人が多かったです。韓国も同じような問題があります。発展のために住民と愛媛県の協力がなければならない。今度私が一週間に感じた日本のことです。このくらいが日本についてまだ理解することができて、まだせんから、大阪とか東京地方に行くことと思っています。日本の人々、文化、家族のイメージ、景色のすべてがうれしくて楽しかったです。どうもありがとうございました。



井上ファミリーと朴さん(中央)

### 「三机で…」

朴成太

今、一週間の間のスケジュールが映画のように思い出せます。始めからいままでも楽しかったです。日本に來ても緊張してしゃべることがむずかしくて、ただ「はい」と「いいえ」だけ答えるが大部分でした。しかしこれは「三机」私にいろいろなことを見せてくれたり、教えてくれたりしました。結婚儀式から風車、歴史館、原子力発電所など、たくさん場所を見て勉強しました。私がわからないことを、瀬戸町に來て新しいことを見学して、

写真で見たことと聞いたことが実際に見れてよかったです。それに短い期間でしたが、楽しい思い出を作りました。また、多くの人たちいろいろなことについて話し合いました。たとえ日本と韓国は違う文化で生活していますが、こんなかい日本に來て、となりの国として安心しました。

他国で一週間を生活することはやさしくないですけど、考えていたよりむずかしくなかったことは、たぶん私を親切にしてくれたみなさんの「配慮」だと思います。すずしい海の風と花火と景色、そしてみなさんの笑顔は忘れないうちに、書いてくださるののために、書いてくださるののい名所を紹介してくれた「井上」さん家族に、どうもありがとうございました。

2002・8・10 三机で

# シリーズ⑧ 三崎町との二町合併を推進

半島四町での合併を推進していた市町村合併の枠組みにつきましても、さまざまな協議経過を経て、最終的に伊方町との二町合併の方向が示されました。

このことは、七月三〇日に開催された瀬戸町議会全員協議会において、町長が提案した伊方町との合併の枠組みが、賛成多数で承認されたもので、伊方町も先に「瀬戸町が伊方町を選んだ場合は二町で合併する」と決定しており、これで二町合併での合併推進の方向が決定しました。

しかしながら、三崎町については八幡浜市・保内町との一市二町での合併の方針を示しているものの、未だ結論には至っていない状況であり、今後の合併準備期間も考慮して二町での推進を先行決定したものです。

については、効率化の面で考えれば問題は生じると考えられ、また、佐田半島のような地理的条件のもとでは将来に問題を残すことになりかねません。

▽大きな合併では行政効率が高くなり、小さな合併では切り捨てられる。大きな合併では行政の効率化を名目に、従来、周辺地域が行っていた地域の隅々に行

▽大きな合併では行政効率が高くなり、小さな合併では切り捨てられる。大きな合併では行政の効率化を名目に、従来、周辺地域が行っていた地域の隅々に行

▽発電所を抱える地域として共に発展すべき。本町は財源の不足を地方交付税で賄っていますが、今後大合併であれ小合併であれ交

付税が減ってくるのは確実であり、右肩上がりになるのは期待薄の状況です。合併により多大な期待を抱くのではなく、現状のサービス維持を基本としつつ、発電所隣接の立場が立地町となることから、現状の原子力防災面の格差是正を図ると共に、発電所を抱える地域の課題を克服して安心して暮らせるまちづくりを進めるべきと考えます。

現在までの八西地域の合併協議の経緯 (7月末現在)

日付	内容
14年3月6日	三瓶町が東宇和郡との合併を表明
4月4日	瀬戸町がアンケート結果の公表(半島4町での合併意見を尊重)
4月11日	八幡浜市議会特別委員会が1市4町での合併推進を表明
4月24日	保内町がアンケート結果を公表(半島4町が多数意見)
5月22日	伊方町懇話会が半島4町での合併を提言
5月25日	保内町議会が1市4町での合併推進を表明
6月18日	保内町長が議会招集挨拶で八幡浜市と半島4町での合併推進を表明
6月25日	瀬戸町長が議会招集挨拶で半島4町での合併推進を表明
7月5日	三崎町長が議会答弁で半島4町での合併推進を表明
7月6日	瀬戸町議会が3町での合併を了承
7月12日	保内町議会が1市1町での合併推進を表明(態度を保留)
7月24日	八西1市4町首長等意見交換会(三崎町は態度を保留)
7月29日	三崎町長が八幡浜市・保内町との合併方針を公表
7月29日	伊方町議会が瀬戸町との合併を了承
7月30日	瀬戸町議会が伊方町との合併を了承

## 三崎高校だより

### 豊かな体験活動

七月十八日(木)、地域の地場産業である柑橋栽培の体験活動を行いました。今回が第一回目で、これから実際の柑橋園で、一年間を通して草刈りから収穫までの作業を体験します。



除草

一年 河野 汐恵  
家が農家ではない私にとって、みかん畑での作業は生まれて初めてだった。学校からみかん畑までは歩いて二十五



肥料運び

### 徹底した個別指導による進路実現

今回は町民の皆様方、本校のことを少しでもご理解いただくために、進路関係のことについて説明します。

□進路指導の特徴  
本校の進路指導は、個別指導により生徒理解の深化や進路に対する意識の高揚を図り、適性・能力に応じた進路選択ができるよう十分事前指導を実施しています。

□就職指導  
・あいさつの仕方、読み書きの学習など社会的常識を授業時間に位置づけて身につかせています。  
・一人一人の具体的な希望を聞き、学校を挙げて職場開拓をし、新たな企業の人材確保に努め、全員就職を目指しています。

本人の努力はもちろんですが、それを指導・援助するしつかりとした体制が必要です。本校教職員は若さにあふれ、労を惜みず「生徒のために」と日夜頑張っております。

### 同窓会総会開催

七月三十一日(木)に、三崎町民会館において、三崎高校同窓会総会が行われました。総会の内容につきましては次回ご報告いたします。

### 過去3年間の主な進路先

- 進学先
  - 愛媛大学 雁谷 大学
  - 岡山大学 関西外国語大学
  - 広島大学 関西大学
  - 大阪市立大学 広島工業大学
  - 北九州大学 松山 大学
  - 防衛大学校 福岡 大学
  - 大妻女子大学 九州女子大学
  - 愛媛県立医療技術短期大学
  - 愛媛県立伊予三島看護専門学校
- 就職先
  - サンリード 国連九四フエリ
  - あわしま堂 南 商 事
  - マロイケイト シキシマパン
  - マイブックス フジパン
  - 日本食研 フルタ製菓
  - ホテル奥道後 関西業老乃瀧
  - 三崎町役場 瀬戸町役場

# 戸籍の窓



平成14年7月分

お誕生おめでとう

出生児氏名 性別 筆順等

## わが家の



(川之浜)  
山本 義博  
真由子  
さんの子



やまもと りょうた  
山本 涼太くん

(平成12年6月3日生まれ)



2歳になってだいぶ言葉を覚え、楽しそうにおしゃべりをするようになりました。歌も大好きで、兄ちゃんと一緒にうたしそうに歌っています。ばあちゃんの作ってくれるお野菜を大人顔負けによく食べる「涼たん」。これからも、いっぱい食べていっぱい遊んで、完気にたくましく成長してほしいと思います。「涼たん」は、家族みんなの大切な宝物です。

—お父さん・お母さんより—

ご結婚おめでとうございます

### ゆっちゃんだより

◎「花嫁まつり」に参加しました

八月四日、須賀公園で行われた瀬戸の花嫁まつりに瀬戸郵便局・大久保運同合同で、恒例のサイコロゲームコーナーを開催させて頂きました。職員は猛暑に負けないよう、周年以上の気合いを入れたみました。

子供達はさすがに元気で「次、三出ろ」と叫びたい掛け声でサイコロを投げていきます。私達も子供達に元気を分けてもらい、おかげ様で大

好評のうちに終了することができました。また次回も、瀬戸郵便局・大久保運同一同参加したいと思いますのでよろしくお願ひします。



おくやみ申し上げます

平成14年7月末現在

- 人口 2,715人 (+5)
  - 男 1,276人 (+2)
  - 女 1,439人 (+3)
  - 世帯数 1,145戸 (+5)
- ( )内は先月との比較

※広報に掲載不要の方は、届出時に申し出て下さい。

### お礼

故人が生後お世話になったお礼として追悼、福智活動に役立ててほしいとご寄付をいただきました。紙上より厚くお礼申し上げます。

瀬戸町社会福祉協議会  
八尾市 緒方 立男 様

### おつひの銀行

次の方から指定預託の申し出がありました。

○川之浜 山下 岩根 様  
(大坂市在住)  
亡父 徳好  
亡母 久子